

科目名	「人事行政の現場から」～公務員制度改革～
担当者	山野岳義
配当学期	春学期
単位	2単位
授業概要	<p>脱官僚、政治主導のスローガンのもとで公務員制度改革が進められようとしている。本来公務員制度は政策目的そのものではなく政策実現のための手段に過ぎない。手段である公務員制度の改革が、政策論争とは別個に繰り返し取り上げられ、政治課題として争点化した背景は何であったのか？</p> <p>(1)本授業では、始めに公務員制度の仕組みを整理した上で、具体的な公務員制度改革がどのような社会政治情勢のもとで、浮かび上がってきたのか、その結果どのような改革が行われたのかを検証する。</p> <p>その際の重要な要素が、公務員制度改革におけるアクター（政治家、各府省、組合、民間人、マスコミ等）である。アクターは、どのような意図で、どのように行動したのか、公務員制度を巡る改革のプロセスを、動的な視点で考えてみたい。</p> <p>(2)改革論の中で浮き彫りにされた、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政と官の関係、政治任用、公務員の中立性、公務員の裁量と責任</li> <li>・官と民、官民交流、公務員とNPO</li> <li>・ヒエラルキーとセクショナリズム</li> <li>・キャリアシステム（ギルド制と職階制）</li> <li>・公務員の民主的統制、情報公開、公務員倫理</li> <li>・労働基本権問題</li> </ul> <p>等の課題を取り上げる。</p> <p>(3)世界的な傾向としての公務員バッシングが続くなかで、新たに公務員になった者の志望動機、公務に何を期待しているのか、また各府省は公務員希望者にどのような能力、役割を求めているのか等について、各種調査あるいは現役公務員との意見交換を通じて探っていく。</p> <p>(注) 公務員志望者には、面接等の受験指導も行う。</p>
授業の到達目標	<p>(1) 公務員制度及び公務員制度改革の歴史の理解</p> <p>(2) 公務員制度の課題を諸外国での議論を参考にしつつ整理</p> <p>(3) 今後のあるべき公務員像の模索</p>
授業計画	<p>(1) 授業計画の説明、公務員制度改革を取り上げる意味</p> <p>(2) 公務員制度の概要（国家公務員の定義、採用、昇進等）</p> <p>(3) 同上（分限、懲戒、給与等）</p> <p>(4) 同上（勤務条件、懲戒、人事評価、公平、退職管理等）</p> <p>(5) 我が国の公務員制度改革の歴史（第2次大戦前）</p> <p>(6) 同上（～2000年頃）</p> <p>(7) 同上（2000年以降）</p> <p>(8) 公務員制度をめぐる課題の整理（公務員制度改革の意義、目的）</p> <p>(9) 同上（政官関係、公務員の民主的統制、公務員の裁量と責任等）</p> <p>(10) 同上（公務員組織、キャリアシステム、公務員の育成等）</p> <p>(11) 同上（官と民の機能分担）</p> <p>(12) 同上（労働基本権等）</p>

	(13) あるべき公務員像の模索 (14) 同上 (15) 同上	
教科書	なし 授業の前にレジメ等を配布	
参考文献	「国家公務員制度」佐藤達夫 学陽書房 「地方公務員制度講義」猪野積 第一法規 「公務員制度改革」村松岐夫 学陽書房 「日本官僚制の研究」辻清明 東大出版 リストを別途配布	
成績評価方法		評価基準
	試験 なし %	
	レポート 40%	・講義で説明した論点を理解したうえで、議論が展開されているか
	平常点評価 60%	・議論に積極的に参加したか
	その他 %	
関連 URL	<a href="http://www.gyokaku.go.jp/koumuin/index.html">http://www.gyokaku.go.jp/koumuin/index.html</a> (国家公務員制度改革推進本部) <a href="http://www.jinji.go.jp/top.htm">http://www.jinji.go.jp/top.htm</a> (人事院)	
備考		